

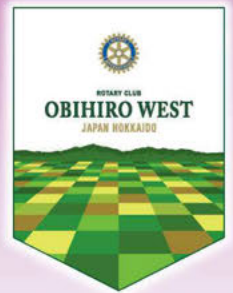


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2410回例会

### 2022.11.24

# 会報



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！  
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

**会長報告**

奥 敏則 会長

皆さんこんばんは。会長報告をさせていただきます。

昨日のサッカーのワールドカップ、日本対ドイツ、皆さんご覧になりましたでしょうか。私は夜間工事が入っていましたし、どうせ勝てはしないのではと思って見ておりませんでした。工事現場では、時々皆さん携帯電話を見ながら仕事をしておりましたが、いたるところから歓声が聞こえてきておりました。いい試合はしているなと思っておりましたが、まさか勝つとは思っておりませんでした。今度27日のコスタリカ戦は見ておきたいと思っております。

さて、来週は年次総会。いろいろと決めごとがありますが、定款の変更部分に関しては、皆様へはFAXで事前にご案内させていただきます。また、例会の出席に関しては、コロナが依然として蔓延している状況ですが、12月より欠席しても出席扱いはしないということに決まりましたので、ご報告いたします。また、翌々週は年末家族会となりますが、通常の態勢でさせていただく予定です。コロナの罹患者が大幅に増えたりした場合は、状況を踏まえて皆様には早急にご案内させていただき、出席者の制限や内容を一部変えさせていただくこともあることを了解していただきたいと思います。よろしくお願ひします。

先週は出張のためにお休みをさせていただきました。九州への出張でしたが、実に2年10か月ぶりでした。コロナの影響を全く感じないほど、飛行機も何処へ行っても、人々でした。飛行機も、取りたい便がなかなか取れなくて、途中LCCを利用しなければなりませんでしたが、飛行場へ着いてもボーディングブリッジが混んで空いていないため、エプロン前で30分ほど待機させられるというようなこともありました。

出張先は、宮崎県の新富町にあります新田原基地（ニュータバルキチ）という航空自衛隊の基地です。私共の元受け業者が基地関係の仕事をしている



関係で、私が親の後を継いでこの商売に入った40年ほど前から、時々いろいろな基地に行き仕事をしておりました。1年ほど青森の三沢基地の方へ行っていたこともあります。当時は、ソ連との冷戦真っ只中でしたので、北部方面の防衛に力を入れておりました。それで、予算が三沢とか北海道にかなりついておりました。ところが今は、中国・北朝鮮・ロシアに対する防衛力の強化のため、九州・沖縄を中心とした西部方面に防衛費をつぎ込んでおります。今話題の、防衛費増額は増税でというような話もありますし、国際情勢によって影響を受け、自衛隊の基地や駐屯地が刻々と増強されていくのは、しょうがないと言わなければならないことです。

昨年度の日本全土での緊急スクランブルの回数は、資料によれば1004回で、これは世界一だそうです。また、国土面積の0.6%しかない沖縄県内に全国の70.3%の在日米軍専用施設が集中しています。沖縄への基地負担軽減という意味でも、九州の基地強化というのが実行されているようです。最新鋭のF35ステルス戦闘機の配備も決まったようです。戦争状態にはなっていませんが、いついかなる時にどんな国が攻めてくるかわかりません。工事関係者の人は、ここが戦争一歩手前の最前線であると仰っていましたが、私もそう感じながら帰ってきました。

ロータリーは、平和の推進を訴えることはできませんが、残念ながら一度起きてしまった戦争を止めることはできません。以上会長報告といたします。

**会務報告**

立崎 貴之 副幹事

①帯広北RC、11月25日(金)の例会は、休会と致します。

帯広南RC、11月28日(月)の例会は、休会と致します。

②帯広西RC、年次総会開催のご案内  
日 時 12月1日(木)午後0時30分  
(例会時)

場 所 北海道ホテル



会 長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸  
幹 事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



- ③帯広南RC、年末家族会開催のご案内  
日 時 12月5日(月)午後6時30分  
場 所 北海道ホテル
- ④帯広西RC、年末家族会開催のご案内  
日 時 12月8日(木)午後6時30分  
場 所 北海道ホテル
- ⑤帯広北RC、夜間例会開催のご案内  
日 時 12月8日(木)午後6時30分  
場 所 ホテル日航ノースランド帯広  
※尚、12月9日(金)の繰上げ例会と致します。

**ニコニコ献金** 千葉 清秀 親睦活動委員長

奥 敏則 会長

先週はお休みを頂きました。高田副会長、ご苦労様でした。

飯田 正行 青少年奉仕委員長

青少年奉仕委員会担当例会です。よろしく願いいたします。

石原 英樹 会員

11月22日「いい夫婦の日」に三男坊が結婚しました。

千葉 清秀 親睦活動委員長

年末家族会の締め切りは来週28日月曜日となっております。どうぞよろしくお願いいたします。



**米山功労者及びロータリー財団表彰**

米山功労者表彰 奥 敏則 会員

ロータリー財団表彰

田中 利昭 会員 越智 孝佳 会員

斉藤 正彦 会員 伊東 肇 会員

長平 圭太 会員 伊藤 公康 会員

ニコニコ 献金	11月24日	12,000円
	累計	340,000円 (11月24日現在)



**◇プログラム**

**「これからの青少年奉仕を考える」**



飯田 正行 青少年奉仕委員長

皆さんこんばんは。本日は青少年奉仕委員会担当の例会ということで、私と副委員長の米田さんの2名で担当したいと思います。

まず私の方からは、先日10月28日に芽室高校で行われました「職業別ガイダンス」について説明をさせていただきます。なぜ芽室高校で職業別ガイダンスかという事ですけども、年度初めに奥会長と森幹事より何か新しい事に取り組んで欲しいという事で、委員会でも話し合いました。西ロータリーの出張講座みたいなものを高校生に向けてやれたらいいね、という話が出まして、たまたま芽室高校の進路指導の先生とコンタクトがありましたので、そちらの先生にお話しをしました。そうしましたところ芽室高校の一年生を対象に毎年10月の末ぐらいに「職業別ガイダンス」という授業をやっているの、西ロータリーさんに1コマあげるからやって下さい、という事になり参加をしてきました。西ロータリーに講師の派遣をお願いします、という正式な文章も届いています。対象は一年生で148名、5時間目と6時間目、50分ずつ時間を使って授業という形でやらせてもらいました。建設について、設計業務に関しては大田会員、住宅建設は岡田会員、空調設備は西藤会員、土木工事は私で、撮影記録は堂山さんが担当しました。前段で頂いた資料ですが、どんな職種に生徒達は興味があるか？というものです。西ロータリーが担当した建設系は5時間目4名、6時間目4名ということで、トータルは8名になっています。これを見てわかるとおり1番人気があるのが公務員であり大原学園担当で38名です。あとは看護の関係が31名です。由々しき事態なのが、建設系が8名いたのはまだいいほうで、石原会員が関係する自動車関係は誰も選んでいません。もう、車整備をするのもできなくなってくるのでしょうか。教室にテレビを置いてパソコンでパワーポイントを使って説明しました。最初に、ロータリークラブとは？ということをお話しました。生徒4名に対して私たち4名が説明しました。先程の資料でもありましたように専門学校の先生が来て説明するという事ですが、はっきり言って専門学校の先生たちもわかる事はわかるけど、現場の事、その職業の中で起こっている事まではなかなかわからないと思います。特に建設の部分では、例えば土木、建築、設計、設備というように建設の中でもこれだけ分かれているという事は専門学校の先生ではなかなか生徒さんたちに伝わらないと思います。まず1番バッテリーは太田さんでした。太田さんは芽室出身、また、芽室高校のOBという事で、その辺りもアピールしながら説明をされていました。太



田さんのところは、設計の部分ですから、今まで自分が手掛けた建物とか、今取り組んでいる建物の説明をされました。商工会議所の中にYouTubeの画像があり、設計について太田さんの職員が出ている画像を流しながら説明をしていただきました。続いて、2番バッテリーは住宅建設という事で岡田さんにやってもらいました。太田さんは口頭で自己紹介していましたが、岡田さんはしっかりと自分のPRをされていました。、建築といってもビルを建てるような建築もあれば、岡田さんのところのように、住宅建設もあるという部分を丁寧に説明していただきました。十勝であれば農業施設の建設もありますので、ひと言で建築といっても色々なものがある事を丁寧に説明してもらいました。次に西藤さんには、設備工事についての話をさせていただきました。設備工事の部分は理解され難いと言うか、表に出ない部分なので、今回は良い機会だったと思います。建物を建てても空調設備とか水周りとかトイレとか、そういうものがなければ成り立たないという事を動画を使いながら説明してもらいました。続いて私からは土木の話をしました。最近では、すごい勢いで仕事のやり方が変わってきており、以前は二次元的な測量をしていましたが、今は、座標をつけて三次元の測量をしたり、ドローンを飛ばして写真測量で点群を取って測量をするとか、そんなような事がどんどん増えている話をしました。帯広二建会が十勝管内の高校生にアンケートをとった結果等も紹介しながら説明をさせていただきました。また、生徒さん達からの質問も受けました。女生徒から、「絵心がないと建築の仕事はできないですか?」という質問もありました。これは太田さんが、「絵心があれば図面だとかデザインだとかやるのがいいですよ。」と話をしたのでこのような質問をしたという事があります。5時間目も6時間目も生徒さんが4人ずつで、女生徒が1人ずつ入っていましたが、ぜひ積極的に建設業に入ってもらえたら良いなあ、と思って見ていました。

今回こういう形で初めて高校生に向かって建設業だけでしたが説明をさせていただきました。十勝から就職で十勝以外に出て行く。また、進学で札幌・東京の方に出て行く。そういう生徒さんたちに将来的には帯広十勝に戻ってきてもらい、この人手不足の中、地元で仕事をしてもらえよう環境を整えられたらいいな、という思いで今回取り組みました。この講座が来年以降も継続となるかどうかはわかりませんが、以前のようにローターアクトクラブと一緒に活動をするのも必要ですが、それ以外にも若い生徒さん達とかを巻き込んで仕事の実態の話をし、学校の先生ではうわべだけの話になってしまい質問が出て突っ込んだ説明はなかなかできないと思いますので、ぜひ何らかの形でこのような活動を続けていけたらと思っています。お粗末な話でしたけれども私の方からこれで終わります。

**芽室高校 職業ガイダンスについて**

- 目的: 職業についての知識、理解を深め進路意識を高める
- 日時: 令和4年10月28日(金) 5:18校時 を担当
- 対象: 1年生 148名

西RCは 設計事務所・A田 専 会員  
住宅建設・岡田 専 会員  
建築設備・西藤 専 会員  
土木工事・柴田 専 員  
記録撮影・金山 専 員 以上5名で講演をいたしました

**参加専門学校**

▶ 建設系	▶▶ 山口学院	→ 8名
▶ 電気工事	▶▶ 日本工科大学北海道専門学校	→10名
▶ 公務員	▶▶ 大宮専門学校	→3名
▶ 一般事務	▶▶ 総合医療専門学校	→1名
▶ 専門学校士	▶▶ 専門学校	→1名
▶ 看護師	▶▶ 創生総合職業専門学校	→3名
▶ IT・ゲーム	▶▶ 北海道情報専門学校	→2名
▶ 自動車工学	▶▶ 北海道自動車専門学校	→ 0名
▶ 保育士	▶▶ 札幌北海道専門学校	→1名
▶ 建設・実務	▶▶ 北海道建設実務専門学校	→2名
▶ 芸術系	▶▶ 苫小牧芸術専門学校	→1名
▶ 医療系	▶▶ 苫小牧医療専門学校	→1名



**米田 健史 青少年奉仕副委員長**

私からは十勝で新しく事業として生まれた「十勝eスポーツ教育センター」のお話をさせていただきます。eスポーツはエレクトロニック・スポーツの略であり、通常、スポーツというとフィジカル・スポーツで野球とかサッカーとかを思い浮かべると思います。例えば野球であれば、WBCのように世界大会みたいなものもあれば、日本で言うと、プロ野球とか高校野球とか少年野球とかに階層が分かれて同じ野球というものを様々な方々が様々なレベルで楽しんでいます。eスポーツについても世界大会があったり、eスポーツ甲子園のようなものがあったり、子供もeスポーツで遊んだり様々な階層の方々が楽しんでいます。また、自分達が楽しむだけではなく、応援をして結構熱狂します。これは北米大会決勝の様子です。昨日のサッカーの試合などの興奮もありましたが、eスポーツもこれだけ盛り上がっています。今、ご覧いただいた様にeスポーツというものの自体が通常のスポーツと同様に熱狂的な応援もされながら行うものだという事をご覧いただけたいと思います。高校eスポーツの全国大会とかも色々な種目で行なわれています。

先ほども申しましたようにeスポーツとはエレクトロニック・スポーツの略で、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉です。ゲームはスポーツなのか?という事ですが、スポーツというものが、そもそもゲームという大きなくくりの中にあります。体を動かしていないからスポーツではないのでは、とよく言われますが、ルールのもとに対戦して勝敗を競う点で両者は同一です。eスポーツはオリンピック競技になるかどうか、と言われているぐらいです。eスポーツの産業としては、若い世代を中心にどんどん規模が上がってきています。世界のeスポーツの市場の傾向ですが、2024年では16億1800万ドルという予測です。この市場規模で見ても結構なピッチで規模が拡大しているのが見て取れます。日本のeスポーツの市場規模という



ころでも、年々規模自体は上がってくると言われています。だいたい年平均20%を超える成長率で拡大すると見込まれています。eスポーツのファンの数がかなり急速に高まっていて、eスポーツをやっている20代後半から30代ぐらいの人に聞くと、今は集まりとかで接待ゴルフとかがあります、「接待eスポーツ」のようなものに将来は変わってくるのではないかとこの見方をしている人もいます。

さて、十勝eスポーツ教育センターというのが何かと言いますと、「株式会社そら」が係っており、ちょうど一年前に旧商工中金ビルを入札で取得しました。そして、音更の山忠ホールディングスさんと起業家支援をやっており、起業したい人の相談にのる事をやってきた中で、星槎高校の先生が起業してeスポーツの事業をやり街中に賑わいを作り活性化につなげたいという事業構想があり、半年ぐらいその相談にのっていました。そこで旧商工中金ビルを貸して、そこを星槎高校の高校生達が自分たちでその場を作ってパソコンとかコンピューターを持ち込んで、今事業化したところです。ちょうど昨日、そのプレオープンの発表会があり、12月から一般の会員も含めて募集していきます。元気な中心市街地を作ろうということで魅力に溢れ、訪れたい街中の形成ということで、平日昼間を中心とした街に来る人を増やしていきたい。元気な中心市街地をつくる必要があるということで日常的に行く街中にしたい。街中の魅力って何？というところで人によって違います。大橋先生という人が星槎高校の先生で今回、起業した先生です。高校生が中心市街地に寄せる思いのアンケートで、「今、中心市街地に魅力と賑わいがあると思いますか？」という問いに対して帯広市においては否定的な回答が73.9%ですが、同じ質問を高校生にしたところを肯定的な回答が68%あるという事で、かなりギャップがあります。ただ、高校生に聞いてみると街中に別に不満はないという事で、強いて言えば、商業施設、飲食店、娯楽施設が欲しいという声がありました。コンテンツがないから行かないというよりも、すでに、高校生にとって中心市街地への期待度がそもそも低いので魅力と賑わいといっても充分だよ、という事です。どういう状態が賑わっている状態なのかというのを、今の高校生ぐらいになると分かっていないので、中心市街地といっても、そこまで行く候補にすら上がっていないという事です。元気な中心市街地を作るために、若者たちの未来への憧れと期待の象徴になるような事業を作りたいという事です。子どもたちが街づくりに参加できる街、そして中心市街地、街を楽しくしていくのは自分たち自身だと思えるようになって欲しいという事です。街に通う目的を自ら作り出すことができる施設ということで、中心市街地に来てもらうために戦わなければならない相手は、Netflix、Amazon、YouTube等があります。子供たちが好きなものを活かすべきだという事でeスポーツを授業として取り入れたのが星槎高校です。その結果、子供たちが学校に毎日行きたい、と変化するようになったという事です。eスポーツ教育センターの中にはゲーミングパソコンが30台ありまして「eスポーツ×教育」というのをテーマにした学習施設です。先ほど申し上げた通り、若者自身、高校生が施設をデザインして自分たちで作りました。eスポーツ教育センターに行ったら、みんなでゲームをしてゲームすると仲間ができて一緒に挑戦する。WiFi環境等、最先端というかeスポーツとしてやり易い環境を全部整備してみんなでここに来てゲームをしましょう、という事でやっていきます。先ほど教育と申し上げた通り、ゲーミングパソコンで動画を見ながら勉強ができたり、自習室もあり、そこに行ったら高校生が子供に教えてあげたりとか、そのような時間も場所も作っています。「無敵の時間」というものもあります。月曜日から金曜日の16時から18時に行くと、助っ人があなたの課題を解決します！ということでeスポーツの達人みたいな高校生が子供達に教えてあげたりもします。また、eスポーツ教育に係る共同研究、eスポーツ対応の改善の実地試験等を地元企業と一緒にやっていきます。

昨日、オープンを正式に発表して12月からプレオープンということでまだこれからですが、ぜひ地元から生まれた、32歳の先生が起業して新たに作りだした事業です。街中に行かれる際などにぜひ一度、見学等お立ち寄りいただけたらと思います。これで発表を終わります。ありがとうございます。

<p><b>eスポーツとは？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ゲームを用い、ルールのもとに戦い、勝敗を競うもの。広い意味でいうと電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、ビデオゲームを使ったスポーツ競技のことを指します。」 【eスポーツのすべてがわかる本】(風川文雄、日本実業出版、2019年)</li> <li>「eスポーツ(esports)とは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。」 【日本eスポーツ連合公式ホームページ】(<a href="https://jesu.or.jp/contents/about_esports/">https://jesu.or.jp/contents/about_esports/</a>)</li> </ul>	<p><b>世界のeスポーツ収益</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年:9億5800万ドル</li> <li>・2020年:9億4700万ドル ←コロナ禍 減少小さい</li> <li>・2021年:10億8400万ドル</li> <li>・2024年:16億1800万ドル(予測)</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>次世代型教育施設</b></p> <p style="text-align: center;"><b>十勝eスポーツ教育センター</b></p> <p style="text-align: center;">Tokachi eSport Education Center</p> <p style="text-align: center;">新しい学び、新しい出会い、新しいまちづくりの拠点</p>
--	---	---

④ 十勝eスポーツ教育センター

**十勝eスポーツ教育センターは**

- ・ゲーミングパソコンが30台ある、eスポーツ×教育をテーマにした学習施設です。ゲームをきっかけに、さまざまな学びと、まちづくりはじめられるプログラムが充実しています。




写真:ゲーミングパソコンが30台のイメージ / 大人eスポーツ教室の様子

④ 十勝eスポーツ教育センター

**十勝eスポーツ教育センターで具体的にできること**

従来の教科学習と、次世代型の学習を両方受けられる

ゲームをきっかけに様々な年齢層が出会い交流し、それをきっかけとし新たなものが生まれる

小学生向けの学習塾

eスポーツの授業の業務委託

大人の部活動

休日のイベントとライブ

星槎圏内高校生達が平日の昼間に、授業のために来街

広く開かれた学びの場。ゲーム大会やオアシスゲームスペースとして

●最後に飯田委員長より

ありがとうございました。高校生とか世間で言われているZ世代、さらにその下の若い人たちの感覚や気持ちや考えを理解した上で今後の青少年奉仕は考えていく必要があると思っています。今日はどうもありがとうございました。